

令和2年度第4回稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日時】 令和3年3月2日 火曜日 午後1時30分から午後2時50分

【場所】 稲沢市役所 東庁舎 第7・8会議室

【出席者】 稲沢市男女共同参画審議会委員（敬称略）

江草 普二 名古屋文理大学准教授

真下あさみ 愛知文教女子短期大学准教授

後藤 恵美 稲沢商工会議所女性会（会長）

牛嶋みゆき 稲沢連合婦人会（副会長）

佐久間春生 稲沢市ボランティア・市民活動連絡会（会長）

吉次 栄子 女性団体

大谷 淳子 公募委員

犬飼 祐香 公募委員

松崎 伯 公募委員

【欠席者】 中島 雄太 公募委員

【稲沢市】 篠田 智徳 市長公室長

大口 伸 地域協働課長

鈴木 俊吾 地域協働課 主幹

前田 赳史 地域協働課 主査

【委託業者】 白藤 株式会社名豊

【傍聴者】 3人

【会議概要】

1 あいさつ

[市長公室長あいさつ]

[会長あいさつ]

2 議題

議題（1）パブリックコメント実施結果の報告について

（2）「いなざわ男女共同参画プランⅢ（案）」の策定について

[事務局]

議題（1）及び（2）について、以下の内容を説明。

・パブリックコメント実施結果の報告

・パブリックコメントの意見による前回の計画書（案）からの変更及び修正箇所とパブリックコメント以外に変更及び修正箇所について説明。

（主な質疑・意見）

[委員]

・パブリックコメント実施結果の報告の中で、意見提出者が6人と報告されたが、提出者数が非常に少ないと思います。前回の計画書策定時のパブリックコメント募集された際はどのような結果でしたか。

[事務局]

・前回の計画書策定時のパブリックコメントは平成18年度に実施されており、資料を持

ち合わせておりませんので、後日御報告させていただきます。

[会長]

・今年度は他にも複数のパブリックコメントが募集されているが、他の募集状況と比較するとどのような状況か。

[事務局]

・本課で所管しておりますコミュニティバスに関するパブリックコメントについては、生活に直結するものであることから、非常に多くの方からの意見が提出されます。

今回の6人につきましてはバスと比較しますと少なく感じますが、他の募集結果と比較すると同程度だと思えます。

[会長]

・パブリックコメントの実施時期は、この時期に実施することとなっているのか。

[事務局]

・実施時期についての決まりはございませんが、年度末の計画策定となりますとこの時期になります。

特に今年度につきましては、多くの計画が策定されることから、同じ時期にパブリックコメント募集が重複し、結果、意見書を提出しづらい状況となっていたとの御意見を伺っております。

[委員]

・公共施設のバリアフリーの整備の評価について確認のため伺いますが、公共施設とは何を対象としているのか。また、道路における段差解消などや各施設でのバリアフリー化はまだまだ進んでいないと思うが、A評価とされた理由は何か。

[事務局]

・公共施設については、建物施設と公園のトイレを対象としております。

本プランの策定における評価方法といたしましては、プランⅡの策定時における実績値や目標値、現況値に対して、評価基準を定め、現況値が目標値を上回ったためA評価とさせていただきます。

[会長]

・パブリックコメントの意見に対する市の考え方について、例えば、言葉の解釈を注釈で追記していただきたいに対しては、言葉の解説を行ってまいりますと記載されているので納得されると思いますが、質問や提案、疑問に思われていることに対して、その内容に対する回答となっていない項目が散見される。

女性の管理職の割合が低いのはなぜかに対する回答は、調査分析して理由がわかっているのであれば記載すべきで、具体的な理由がわからないのであれば、説明できていないと回答すべきではないか。

女性比率についての意見に対しても、現在の状況からは直ちに5割と設定することは現実的に困難であるため、今後段階的に上げますといった回答とすべきではないか。

市民にとって唯一のコンタクトポイントであるパブリックコメントに意見して、このような回答されるのは釈然としない。

[委員]

・回答の中では取組を進めるや目標達成に向け努めるといった内容の回答が多い。

男女共同参画についての視点で参加者の方の意識を変える活動をする中で、生涯学習課も私と同じ思いで事業に取り組まれておりました。

他の課でもいろいろな点で男女共同参画に取り組まれているので、市が取り組まれている内容についてもっと発信していくべきだと思います。

[委員]

・テレビの東日本大震災時の特集で、避難所での女性の方が困ったいろいろな意見が出ておりましたが、震災があってから10年経ってもこうした内容が取り上げられる中で、稲沢市では、具体的な女性に配慮した避難所の設置について、何か取り組まれていますか。

[事務局]

・担当は危機管理課となりますが、稲沢市の「避難所運営マニュアル」において、コロナ禍の対策に向けた収容人員などのシミュレーションや女性に配慮した避難所の設置についての記載があります。

[会長]

・パブリックコメントにおいて「避難所における女性への配慮の具体的な推進をして下さい。」と記載されているのに対し、現在の市の考え方は回答になっていない。意見を真摯に受け止め「こういった取組は実施します。」「この点は改善します。」などといった前向きな回答が必要ではないか。

[委員]

・防災リーダーの育成や防災訓練などへの女性の参加を推進するとありますが、女性の参加者が少ないと思います。ボランティアコーディネーターとしていろいろな事業に参加しているが、女性が積極的に参加できる時間や場所などを考慮することについて、行政が女性の意見を取り入れ、積極的に参加しやすい環境整備を進めることが必要だと思います。

[事務局]

・皆様から貴重な御意見をいただきましたので、今回、提示しましたパブリックコメントに対する回答（案）の一部を修正いたします。時間的に制約もございますので、修正したパブリックコメントの回答については会長一任で願わせていただきたいと思います。

プランにつきましても時間が限られておりますので、本日提示しました「本プランⅢ（案）」について、御承認をいただきたい。

【全会一致で承認】

[会長]

・プランⅢ（案）については、委員からの意見もございませんので、本日提示いただいているプランで進めてください。

3 その他

[事務局]

・今後の予定ですが、本日の審議会の内容を踏まえまして、冊子を作成しますので、冊子が印刷できましたら各委員に配布させていただくとともに、ホームページにも掲載いたします。

また、パブリックコメントの回答につきましては、修正したものを会長に御確認いただき、承認をいただき次第、ホームページに掲載させていただきます。

午後2時50分閉会

以下余白